



最近の通信市場の動向について

(報告書2021公表後の主な動向)

令和3年11月9日
事 務 局

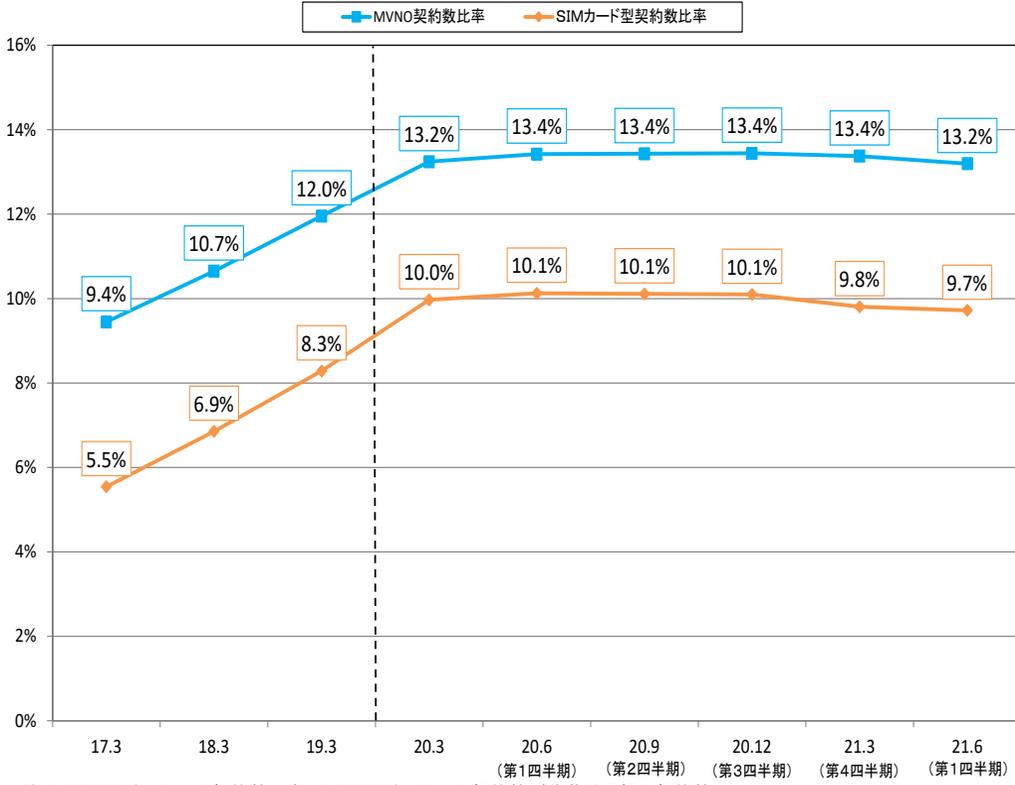
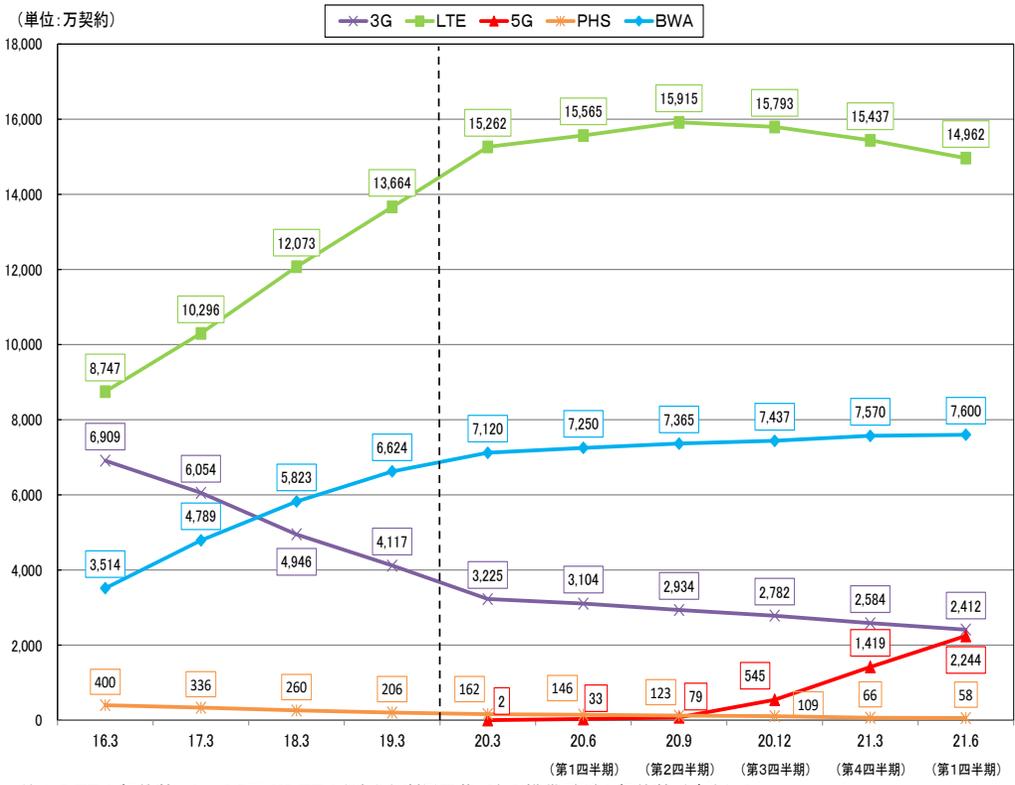
1. 契約数の動向(通信モジュール等を含む契約数:2021年6月末)

- 2021年6月末時点の携帯電話の契約数の総数(通信モジュール等を含む)は約1億9,610万※、対前期(3月末)比で約177万(0.9%)増、対前年同期比で約919万(4.9%)の増。
- 3G契約数に加えて、LTE契約数も減少が進展する一方、5G契約数は引き続き増加。LTEから5Gへの移行が進みつつある。
- MVNOのシェアは頭打ちとなっている。特に通信モジュールを除いたSIMカード型については、シェアが微減している。

※ 3G、LTE及び5Gの契約数の合計値から、MNOのグループ内取引による契約数の重複等を排除・調整した契約数。

3G・LTE・5G・PHS・BWAの各契約数の推移(単純合算)

MVNOサービスの契約数比率及びMVNOが提供するSIMカード型の契約数比率の推移



注1: LTEの契約数には、3G及びLTEのどちらも利用可能である携帯電話の契約数が含まれる。
 注2: 5Gの契約数には、LTE及び5Gのどちらも利用可能である携帯電話の契約数が含まれる

注1: MVNOサービスの契約数比率=MVNOサービスの契約数/移動系通信の契約数
 注2: MVNOが提供するSIMカード型の契約数比率
 =MVNOが提供するSIMカード型の契約数/(移動系通信の契約数-MNOが提供する通信モジュールの契約数)
 注3: MVNOが提供するSIMカード型の契約数は、提供している契約数が3万以上のMVNOからの報告数を合計している。

2. 通信料金の動向(MNO各社)

- 報告書2021の公表以降の動きとして、KDDIが、9月29日から拡充したオンライン専用プラン(povo 2.0)の提供を開始。
- また、NTTドコモが、10月7日、「エコノミーMVNO※1」との連携合意について発表。ドコモショップにおいて、NTTドコモと合意したMVNOが提供する低廉な料金プランへの加入や乗換えが可能に。(発表時点では、フリービット及びNTTコミュニケーションズの2社)

	NTTドコモ		KDDI			ソフトバンク		楽天	IIJ	オプテージ
	ショップ対応あり		ショップ対応あり		オンライン専用	ショップ対応あり		オンライン専用	ショップ・オンライン対応	ショップ・オンライン対応
	右記以外	廉価プラン	右記以外	廉価ブランド	右記以外	廉価ブランド	右記以外	廉価ブランド	右記以外	廉価ブランド
大容量 (約25GB~)	ドコモ (5Gギガホプレミア) (ギガホプレミア)		ca (使い放題MAX4G) (使い放題MAX5G)		povo2.0※5	ソフトバンク (メリハリ無制限)				
中容量 (約3~25GB)	ドコモ (5Gギガライト) (ギガライト)	エコノミーMVNO※1	ca (ピタットプラン4G LTE) (ピタットプラン5G)	eco3QU (5G) (5G) (5G) (5G)	povo1.0※4 povo2.0※5		Y-ecobbie (シンプルプランM) (シンプルプランL)	LINEO (スマホプラン)	Rakuten UN-LIMIT VI	
小容量 (~約3GB)			ca (ピタットプラン4G LTE) (ピタットプラン5G)	eco3QU (5G) (5G) (5G)	povo2.0※5	ソフトバンク (ミニフィットプラン+)	Y-ecobbie (シンプルプランS)	LINEO (ミニプラン)		E-ecoo マイエタ (Sプラン) (Dプラン) (Aプラン)

※1 ドコモとの連携について合意し、低廉・小容量な料金プラン、dアカウント・dポイント連携等を提供するMVNO。 ※2 NTTコミュニケーションズによる提供。
 ※3 申込みサポート及び手続サポートをそれぞれ3,300円/回で実施。 ※4 新規受付は終了。 ※5 利用期限の異なる1GB~無制限までのデータ容量を都度選択して購入。

2. 通信料金の動向(MVNO各社)

- MVNO各社も、MNO各社に対抗する形で、月々のデータ通信料金や音声通話料金(従量制料金含む)を引き下げる形でのプランを打ち出すほか、自社の強みを活かしたサービスを展開する動きが出てきている。

【報告書2021取りまとめ時期以降の主な動き(料金はすべて税込)】

IIJmio

- ・9月以降、国内通話料金を順次値下げ※1。
通常料金 : 22円/30秒→11円/30秒
「ファミリー通話割引」適用時 : 17.6円/30秒→8.8円/30秒

イオンモバイル

- ・9月以降、国内通話料金を順次値下げ※2。
標準の通話アプリで発信した場合の音声通話料: 22円/30秒→11円/30秒
- ・10月1日から、既存の利用者も自動適用の対象とし、音声通話が可能な既存プランの月額基本料金を一律220円値下げ。
- ・10月以降、自社の直営店舗にて、キャリアが販売するスマートフォンと自社回線のセット販売を開始。

y.u mobile

- ・10月1日から、10GB/月※3+グループ会社のコンテンツサービス(U-NEXT:月額2,189円)が視聴可能となる新プラン「シングル U-NEXTプラン」を月額2,970円で提供開始。
- ・また、同日から、音声通話が可能な既存プラン等の料金を値下げ(U-NEXTなしのプランで月額569円の値下げ等)。

NURO Mobile

- ・11月1日から、20GB/月の「NEOプラン※4」を月額2,699円で提供開始。

※1 値下げの適用は、タイプA(au回線)は9月1日から、タイプD(ドコモ回線)は9月11日から。

※2 イオンでんわで発信した場合は9月以前から11円/30秒。値下げの適用は、タイプ1(au回線)は9月1日から、タイプ1(ドコモ回線)は9月10日から。なお、ドコモ回線につき、104(番号案内:利用料200円別途)、117(時報)、177(天気予報)、171(災害用伝言ダイヤル)、およびその他のクイックナンバー(＃ではじまる4桁番号)、「1416」などの留守番電話ダイヤル、転送電話サービスの通話料は、22円/30秒となる。

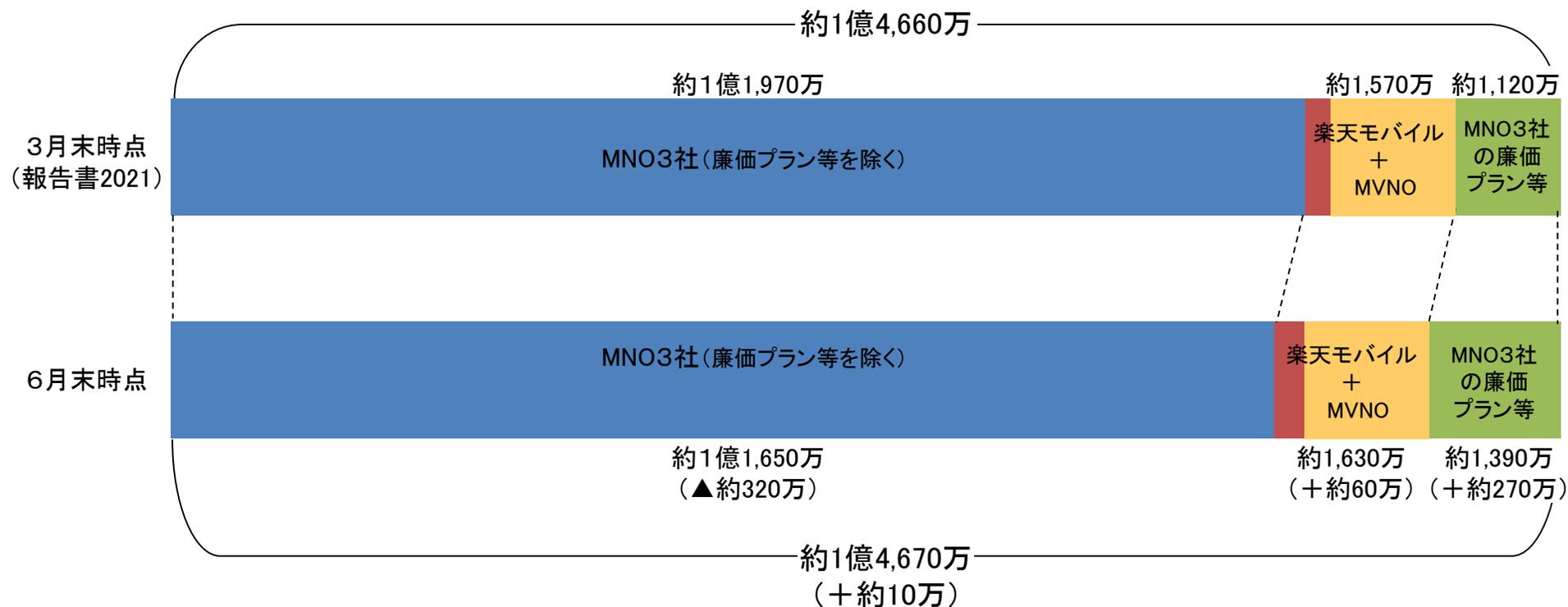
※3 毎月付与されるU-NEXTポイントを使って追加チャージした場合最大20GBとなる。 ※4 専用アプリや番号付与は不要で自動的に国内通話料は11円/30秒となる。

3. 利用者の動向(通信モジュール等を除いた契約数:2021年6月末) ①

- 通信モジュール等を除いた携帯電話契約数の総数は、3月末と比較して約10万の増。
- MNO3社の廉価プラン・ブランド※1を除く契約数は、3月末と比較して約320万の減。
- 楽天モバイルとMVNOの合計契約数は、3月末と比較して約60万の増。
- MNO3社の廉価プラン等の契約数は約1,390万であり、3月末と比較して約270万の増。

※1 NTTドコモ(ahamo)、KDDI(povo、UQモバイル)及びソフトバンク(LINEMO、ワイモバイル)をいう。以下、「MNO3社の廉価プラン等」という。

携帯電話契約数(通信モジュール等を除いた契約数※2)



※2 MNOは通信モジュールの契約数を除いたもの。

MVNOは通信モジュール等の数を除いたものではなく、契約数3万以上の事業者からの報告のうちSIMカード型のサービスの契約数を使用。

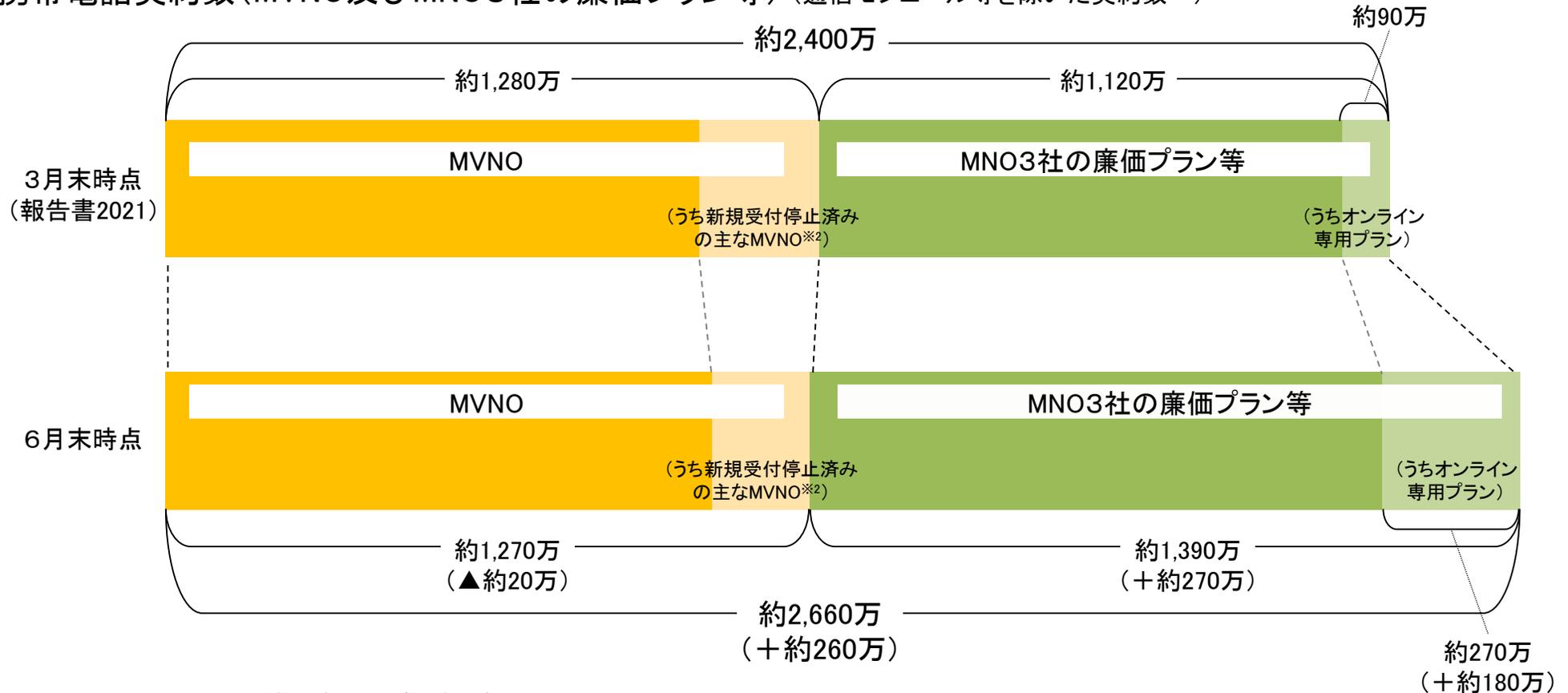
また、MNOのグループ内取引による契約数の重複等を排除・調整している。

契約数の数値は10万未満で四捨五入しているため、合計と内訳等の計は必ずしも一致しない。

3. 利用者の動向(通信モジュール等を除いた契約数:2021年6月末) ②

- MVNO契約数の総数は減少しているものの、新規受付を停止済みの主なMVNOの契約数が減少していることが要因として大きく、それを除けば、MVNOの契約数は増加。
- 前述したMNO3社の廉価プラン等の契約数の増、約270万のうち、オンライン専用プランの契約数増分が約180万を占める。

携帯電話契約数(MVNO及びMNO3社の廉価プラン等) (通信モジュール等を除いた契約数※¹)



※¹ MNOは通信モジュールの契約数を除いたもの。
 MVNOは通信モジュール等の数を除いたものではなく、契約数3万以上の事業者からの報告のうちSIMカード型のサービスの契約数を使用。
 また、MNOのグループ内取引による契約数の重複等を排除・調整している。
 契約数の数値は10万未満で四捨五入しているため、合計と内訳等の計は必ずしも一致しない。

※² 楽天モバイル(MVNO)及びLINEモバイル